



あだあじお通信



お問い合わせ・申し込み

NPO法人 グランマール

ひまわりセンター3階 9:00～12:00 13:00～16:00

(0877) 85-8810 FAX (0877) 85-8811

e-mail adagio.npo@gmail.com

丸亀市健康福祉部子育て支援課

(0877) 24-8808

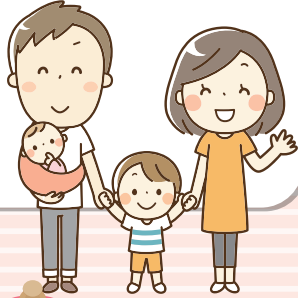
あだあじおホームページ

<https://maruiku-adagio.com/>

あだあじおのホームページを
開設しています。ご覧ください。



まる育サポート「あだあじお」は、丸亀市の利用者支援事業基本型、丸亀市子育て総合相談窓口です。子育て中のあらゆる相談を、子育て支援の専門家(公認心理師・臨床心理士等)を中心に幅広くサポートしていきます。個別相談をはじめ、子育て・思春期座談会、地域の子育て拠点での子育て相談会、子育て支援情報提供など実施しています。この事業に関わっている相談員の先生方にプロフィールとコラムをお願ひし、順番にご紹介していきます。



相談員プロフィール

臨床心理士 **川田 行雄**
かわた ゆきお



1979年～香川県心理職として奉職。丸亀病院、児童相談所、川部みどり園等勤務。西部子ども相談センター所長、斯道学園長を歴任。2014年～県臨床心理士会所属臨床心理士として活動。短大、専門学校講師、スクールカウンセラー等を務め、2019年～県教育センター 学校支援アドバイザー。2022年～高松平和こどもクリニック 発達相談員。著書(分担執筆)は、「いったんキレると手に負えない子—ADHD児のコーチング」児童心理 1999。「ADHDとLD」現代のエスプリ2000。「発達障害と子育て支援」エッセンシャル 特別支援教育コーディネーター 大学教育出版 2011。2020年コロナ禍の自粛生活中に、第一句集「いろはにほへと」ブイツーンリレーションを自費出版。



「子育てと心理学」

川田 行雄

縁あって、最近某クリニックでお仕事をする機会をいただいて、新版K式という検査を改めて使用するようになりました。この検査項目の中に「左右の弁別」があって、子どもさんが「左右」を真逆に答えると4歳半通過。正確に答えると5歳通過と、逆に答える方が早く習得されるのです。このことは他の自治体で実施している年中児さん対象の5歳児健診でも、けっこう真逆に答えてくれる子どもさんがいたりして、「どうしてかな?」と以前から実は気になっていたことでした。

子どもが成長する過程で、3歳半はよく発達の節目といわれていて、子どもの「姿」が質的に変化する時期ととらえられてきました。3歳半までは、おとなとの「共生的な」存在として(木でたとえるとよくわかるのですが、種が地中に根をはっていくというイメージです)成長して、3歳半から4歳にかけて地上に芽を出していくという、まったく異なった成長過程を歩み始めることになるのです。実はこの節目をみるのが3歳児健診です。

ですから4歳にもなると、子どもは親に向かい合うようになります。それまでは、同じ大地で自然に親をまねて(歩くことや言葉なども)、自分の中にとりいれて成長するのですが、芽を出すという事は、もちろん茎でつながってはいますが、大地(親)から少し距離をとっておとなを観るようになるわけです。その結果、おとなが右と教えれば、対面する子どもは自分の左を右と覚えるという「齟齬(そご)」が、4歳半にかけて一時的に発生するということが、ふつうに起こっているのではないかと考えられるのです。このことは、たとえば右利きのお子さんであれば、「右はお箸を持つ方の手だよ」と教えてやれば、容易に修正されて5歳では正しくこたえられることになるわけです。

このようなかわいい「齟齬」もあれば、少しやっかいな「齟齬」もあります。それは、地上に芽をだした子どもは、新たな環境(たとえば家族集団)へと適応していかなければならないのですが、その時に下に赤ちゃんが生まれてきたりすると、赤ちゃんをあやしているお母さんのまねを、それまでのようにしてくれると、じょうずに赤ちゃんに接することのできる、いいお兄ちゃんお姉ちゃんになってくれるのですが、対面の位置におかれると子どもはお母さんの方ではなくて、赤ちゃんの方をまねてしまって、退行反応(赤ちゃんがえり)を起こしてしまうことがよくあるわけです。

ひとの発達というのは、基本はひとの模倣です。1歳までは30cm以内、1歳以降は1mづつ年齢に応じて範囲を広げて、5歳では5m以内のひとをまねると考えられます。だから子どもをしっかりと抱きしめて、確かな愛着関係をつくること、子どもによりそって、おとなが良いお手本になることが、教え込もうとしなくても、じつは子どもの自然な成長につながるのです。

インターネットでひとつつながることが、コロナ禍になって特別に脚光をあびるようになってきました。確かにインターネットは「身近」な存在です。でも、「ひと」になるためには身近な「ひと」をまねなければ、「ひと」にはなれないという大原則を忘れてはいけないと思うのです。



丸亀市子育て支援 総合相談窓口

まる育サポート

～利用者支援事業母子保健型・基本型～



母子保健型
ハッピー
サポート丸亀
(健康課)



基本型
あだあじお
(NPO法人 グランマール)

子育ては、喜びとともに、不安や悩みが伴います。戸惑うことも多かったり、思ったように進まなかったり、真剣だからこそ悩んだり落ち込んだりします。子育ての協力隊をつくりながら、自分自身や子ども、それぞれの家庭にあった子育てをしていくことは大切です。困ったとき・相談したいけどもう少し様子をみようかと迷う時にも、まる育サポート「あだあじお」にご連絡ください。安心して話ができる場を設けます。あなたの悩みに寄り添い、相談や適切な機関と繋ぐ手助けや、子育てサービスなどの情報提供をします。

相談

～ 専門相談員が半日常駐しています～

現在、コロナの対応で、★印のグループ相談は見合わせています。

個別での対応を行いますのでお問い合わせください。

個別相談

来所相談・Zoom相談・電話相談を行っています。専門相談員が相談をお受けします。

予約制・相談時間50分

*Zoomアプリの取り方、Zoom相談の手順はホームページに掲載しています。

★出張相談

専門相談員が子育て支援センターや子育てひろば等へ出張して相談を受けます。

★あだあじお 子育て座談会

妊娠中～乳幼児、小学生の保護者対象。専門相談員がコーディネーターとなって、少人数グループで行います。

メール相談

まる育サポートアプリの相談フォームからお送り下さい。

★あだあじお 思春期座談会

小学校高学年以降の子どもの保護者対象。専門相談員がコーディネーターとなって、少人数グループで行います。

思春期相談日

非行等、思春期の相談に対応します。

★入園・入学相談会

入園や入学に際しての不安や心配に対応します。

保育・教育相談日

月1～2回(半日)、元保育士・元小学校教員が対応します。

特別相談日 月1回18:00まで延長して相談をお受けしています。

休日相談日 年6回土曜または日曜(半日)に休日相談日を開設しています。

※他の方の相談が入っているため待っていただいたり、ゆっくりお話していただく場所がない状況も考えられますので、まずお電話にてご連絡ください。

地域連携

- ・子育て支援センター・子育てひろば等へ出張し、子育ての話をしたり、座談会、個別相談等を行います。
- ・地域子育て支援拠点事業等への講習を行っています。

情報提供 ・啓発

- ・相談時の情報提供
- ・あだあじお通信の発行
- ・あだあじおホームページ



お知らせ

保育・教育相談日

4/15(金)、5/27(金)、6/24(金)、7/1(金)、8/5(金) 13:00～16:00
特別支援教育・LDの学習支援に詳しい元教員の先生が対応します。

5/12(木)、7/14(木) 13:00～16:00
保育所長の経験がある先生が対応します。

特別相談日

4/20(水)、5/18(水)、6/15(水)、7/6(水)、8/17(水) 16:00～18:00

休日相談日

5/21(土) 9:00～12:00、7/10(日) 9:00～12:00 13:00～16:00

思春期相談日

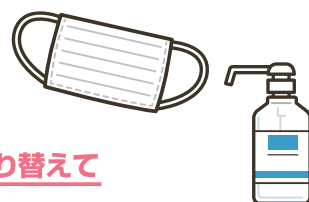
6/17(金) 13:00～16:00、8/26(金) 13:00～16:00

新型コロナウイルス感染予防対策を行っています。

- *個別相談は感染対策として、来所相談のほかZoom相談や電話相談を取り入れています。
- *2週間以内に感染拡大地域や海外に行かれた方(ご家族も含みます)は、来所をご遠慮ください。
- *保護者の方やお子さん、ご家族に発熱・咳、嗅覚・味覚の異常などの症状がある時は来所をお控えください。

来所相談を希望されている方で上記に当てはまる場合、Zoom相談や電話相談に切り替えて実施できます。キャンセルされる場合は、新たに予約をお取りします。ご連絡ください。

- *密にならないように、保護者以外のご家族(祖父母・きょうだい等)の来所はできる限りご遠慮ください。
- *換気のため窓を開けています。服装等で調整をお願いします。
- *来所時に体温測定と健康状態のチェックをお願いしています。
- *マスクの着用、手指消毒をお願いします。



ご不便をお掛けしますが、
ご協力をよろしくお願い致します。